



## ■ インストール手順

動作中のウイルス駆除プログラムがございましたら終了させてください。  
 起動中のアプリケーションがございましたら終了させてください。  
 開いているウインドウがございましたら閉じてください。

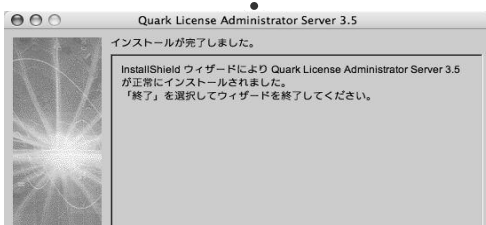
Quark License Administrator 3.5CDからMacフォルダ>QLA Server 3.5 Installers>QLA Server 3.5 Install.commandをダブルクリックしてください。Terminalが起動後、プルダウンメニューより言語を選択するための「Quark License Administrator Server3.5」ウインドウが開きます。  
 日本語を選択して「了解」をクリックしてください。



バックアップサーバーの設置は必須ではありません。使用されない場合は「バックアップサーバーとしてのインストール」チェックボックスはオフのままにしてください。  
 ユーザー名とパスワードは**Quark License Client 3.5**の起動時に必要となります。ユーザー名とパスワードはお客様がご自由に設定することができます。  
 ※ユーザー名パスワードを忘れてしまった場合には、再度サーバーインストールが必要となります  
 「サービスとしてインストールする」にチェックを入れたままインストールした場合には、OS起動時に、自動的にQLAサーバーが起動します。



「ライセンスファイルの登録およびダウンロードを行ってください。」にチェックをいれた場合には、インストール後自動的にdatファイル取得の弊社WEBサイトにジャンプします。



インストールが完了しましたら、弊社WEBサイトからdatファイルの取得を行ってください。  
 (詳細はvol.2をご参照下さい)

別途、改めてdatファイルの取得をする場合には、下記アドレスからdatファイルの取得が可能です。

<http://www.quark.com/products/qla/>

## ■ MacOS X 10.4 Tigerをご利用のお客様へ

※サービスとしてインストールするにチェックを入れてインストールした場合

### StartupItemsのアクセス権について

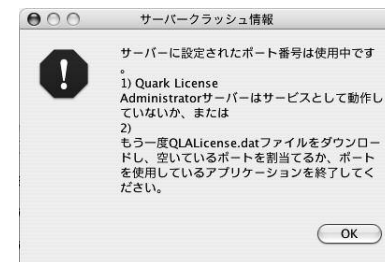
Quark License Administrator(Server)をMacOS 10.4 Tigerにインストールを行う際、インストールの最後に表示される「インストールが完了しました」ウインドウにて「インストール中にエラーが起きた」とエラーが起き、製品のインストールに失敗しましたと警告される場合は、ハードディスク > Library > StartupItemsのフォルダ情報「所有権とアクセス権」より、『オーナー』の項目を「システム」からMacOSに設定されている「管理者アカウント」に変更して、『内包している項目に適用する……』ボタンを押してから、Quark License Administrator (Server)のインストールを実行してください。

※インストール完了後OS再起動後に右記のダイアログが表示された場合は、元のアクセス権に修正していただいても、問題ございません。



### サーバークラッシュ情報が表示された場合

Quark License Administrator 3.5(Server)インストール時に、『サービスとしてインストールする』チェックボックスをオンにした場合、MacOS起動時にサービスとしてサーバーが自動起動するため、手動で起動する必要はありません。サーバーが起動している状態で、さらに起動を試みた場合は「サーバークラッシュ情報:サーバーに設定されたポート番号は使用中です」が警告されますのでご注意ください。



## ■ MacOS X 10.3.x Pantherをご利用のお客様へ

Terminalが起動したままエラーになり、プルダウンメニューより言語を選択するためのQuark License Administrator Server 3.2ウインドウが開かない場合は、ご利用されているMacOSのJavaのバージョンが旧バージョンの可能性がります。

システム環境設定の「ソフトウェアアップデート」をご利用して、Javaプログラムのアップデートがないかをご確認ください。

Javaプログラムのアップデートに関しましては、お客様の環境にてご利用に差し支えがない場合のみダウンロードしてご利用ください。Javaプログラムのアップデートに関しての他アプリケーションやその他の動作・設定について、弊社では保証できませんのでご了承ください。